

ならちゅうしん経営研究会 例会報告

第 312 回 研究会

日 時 平成 29 年 5 月 17 日(水) 午後 3 時 30 分 ~ 午後 5 時 15 分

場 所 奈良県立橿原考古学研究所

内 容 橿原考古学研究所施設見学ならびに講演
ご挨拶 奈良県立橿原考古学研究所 所長 菅谷文則様
第 1 部 橿原考古学研究所施設見学
案内:企画課係長 鈴木裕明様
保存科学棟、整理室、遺物収蔵庫等見学
第 2 部 講演
講師:研究指導員 山田隆文様
テーマ『文化遺産と地元企業のCSR』

今回の研究会は、奈良県立橿原考古学研究所の施設見学ならびに同研究所研究指導員山田氏による講義として開催しました。

冒頭に、同研究所菅谷所長様より、ご挨拶を頂きました。同研究所は昭和 13 年 9 月に設立され、来年（平成 30 年）に 80 周年をむかえるとのことで、記念セレモニーを予定されているとお話でした。

第 1 部では、同研究所企画課鈴木係長様より、施設内をご案内頂きました。まず、保存科学棟では、遺跡より出土した木製品の保存作業を見学させて頂きました。桜井茶臼山古墳より出土した 6m を超える長大な木棺の保存処理の現場を見ることができました。その後、整理室に移動し、発掘調査で出土した遺物の洗浄・記名・分類・復元などの整理や、調査概報・調査報告書の作成作業を見学させて頂き、続いて、コンテナ 4 万箱を収蔵する広さがある遺物収蔵庫を見学させて頂きました。

第 2 部では、同研究所山田研究指導員様より、『文化遺産と地元企業のCSR』と題して、ご講義を頂きました。講義は、なぜ発掘は必要か？（→○過去から学ばなければ未来は創造できない○地球を、世界を、持続可能なものにするために、歴史から学ぶことは、とても重要）というお話しから始まり、『世界遺産』と『日本遺産』について説明を頂きました。世界遺産は、世界各国に過去から引き継がれて伝えられた貴重な資産で、国家や民族などを越えて、私たち人類が共通して未来へ次世代へと継承していくべき資産であるとされ、文化遺産と自然遺産、複合遺産に分類されます。奈良県では全国最多の 3 つが記載され、1 つが暫定リストに記載されています。一方、日本遺産は地域の歴史的魅力や特色を通じて

我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもので、奈良県では 2 ストーリーが認定されています。講義の後半では、『文化遺産の保存』と『経営論』について、マーケティング戦略と世界遺産条約の履行戦略との比較を用いて説明頂き、最後に文化遺産を活用した地域活性化のあり方について、まず地域の皆さまに奈良県内の文化財のことについて、関心をもって頂くことから、とのお話しで講義を締めくくられました。

以上



第 1 部 橿原考古学研究所施設見学 案内：鈴木企画課係長



第 2 部 講義『文化遺産と地元企業のCSR』 講師：山田研究指導員